

薬連ハイライト

本田あきこ氏、見事に初当選！

令和元年7月21日（日）、第25回参議院議員通常選挙において、自由民主党の全国比例選挙候補者として本連盟の組織内統一候補である本田あきこ氏が出馬し、初当選を果たした。

自民党獲得比例議席数	19席
本田あきこ順位	第14位
得票数	159,596票

そして翌22日（月）11時より、選挙事務所で改めて当選報告会が開催された。

7月26日（金）、本田あきこ氏は、中央選挙管理会から当選証書を受領し、同日参議院事務局より議員記章の交付を受けた。

7月29日（月）から参議院議員となり、議員会館に入居した。また、8月1日（木）に臨時国会が召集され、国会議事堂へ初登院をした。

参議院議員会館の本田顕子参議院議員の部屋番号は、次の通り。

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館1001号室

電話：03-6550-1001

FAX：03-6551-1001



もとゆき便り

社会保障の充実に向けて

自由民主党組織運動本部本部長代理
参議院議員・薬剤師
藤井もとゆき

第25回参議院議員選挙は7月21日に投開票が行われ、日本薬剤師連盟が擁立した本田あきこさんは、159,596票を獲得し、自民党比例名簿の14位で見事当選を果たされました。参議院に薬剤師議員の仲間を迎えられたことは、何よりの喜びです。

8月1日に召集された選挙後初の臨時国会は、参議院議長に自民党の山東昭子氏、副議長に立憲民主党の小川敏夫氏を選出した他、常任委員長の選任、特別委員会の設置等の必要な手続きを行い、閉会となりました。

さて、政府内では8月末の来年度予算概算要求に向けた作業が本格化しています。来春は診療報酬・調剤報酬の改定期となります。10月には消費税率の10%への引上げが予定されていますが、人口の高齢化や医療技術の高度化に伴い、医療費は毎年確実に増加しており、その適正化と効率化を進めていくことが引き続き求められるところとなっています。

骨太の方針2019では医療費等について、団塊の世代が75歳以上に入り始める2022年までに基盤強化を進め、基盤強化期間内から改革を順次実行でき

るよう、2020年度の骨太の方針において、給付と負担のあり方を含め、総合的かつ重点的に取り組むべき政策まとめとめています。

しかしながら、6月19日に財務省の財政審議会が取りまとめた、「令和時代の財政のあり方に関する建議」では、国民皆保険を維持していく観点から、適切な保険給付のあり方を検討していく必要があるとし、「大きなリスクは共助、小さなリスクは自助」との考えのもと、薬剤費について、医薬品の種類に応じた保険給付率設定や、OTC類似薬の給付のあり方の見直し等、自己負担の引上げを求めています。また、調剤報酬について、調剤業務の機械化等の実態や薬剤師の業務範囲の明確化を踏まえ、対物業務から対人業務へのシフトが必要としています。

財政ありきの議論ではなく、適正な医療を確保する観点から、本田先生とともに、必要な財源の確保に努めて参りたいと思います。



藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会（下記アドレス）までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@mfuji.jp